

人気の猫城主は  
フィジカルディスタンス

備中松山城(松山)

4～5月に休業していた備中松山城ですが、再開して以来多くの観光客が登城しています。

城内への出入口にはサーモカメラを設置し来城者の体温測定を行っているほか、天守内でのマスクの着用や手指の消毒などをお願いしています。

また、猫城主さんじゅーろーは在城していますが当分の間は触れることができません、写真撮影の際のフィジカルディスタンス(人との距離)なども考慮していただくこととしています。



現在は猫城主と触れあうことができません

コロナ禍でも  
皆さんの足として

備北バス株式会社(川上町地頭)

路線バスなどの走行中は、窓を適宜開放して換気を行っています。また、終点場所では車内のアルコール消毒も行っています。

乗務員の後ろに飛沫防止シートを設置し、最前列を基本的に使用禁止とすることで乗客と乗務員の接触を減らすようにしています。

また、車内で乗客の皆さんが目にする機会が多い場所に感染症対策の啓発ポスターを掲示しているほか、学校や企業などにポスターを持って訪問し、啓発活動を行っています。



車内に飛沫防止シートや消毒液を設置

「持ち込まない」  
社員全員で徹底

イーグル工業(株) 岡山事業場

市外から通勤する社員や外国人実習生を多く雇用するイーグル工業(落合町阿部)では、新しい感染症が騒がれ始めた当初から迅速な対応を行っています。

最初に社員へマニュアルが配られたのは3月、内容の改訂は9月1日までに10回で、それぞれ英語、中国語、インドネシア語、ベトナム語に翻訳されたものも用意しました。

社員や実習生が暮らす寮での生活についても、食堂や風呂などの共用施設や各個室で行う新しい生活様式の詳しいルールや作法を取り決め、寮で暮らす皆さんも協力して実践しています。

イーグル工業ではこれまでの数カ月にわたり、出張や研修、長期連休の帰省などの個人的な移動について、国や県の指針に則った厳格なルールをつくり、社員に徹底しています。7～8月の都市部での感染拡大を経て、9月からはこれまでと比較して若干緩やかな



各国語に翻訳された感染症対策マニュアル。オフィスも「新しい働き方」仕様です。

ルールへと変化していますが、社員の皆さんは厳しい状況と体制について理解をし、全員一丸となって「高梁にコロナを持ち込まない」努力を続けています。

また、遠隔での仕事や在宅勤務などが可能な業務については、現在もリモートワークが続けられているほか、出張を伴う会議を極力減らすなど、「新しい働き方」を今後も続けて展開していくための検討を行っています。

至誠惻怛! 正しい情報に基づく行動や  
誹謗中傷をしないことをお願い

新型コロナウイルス感染症は、誰でも感染したり、気付かないうちに感染させてしまったりする可能性があります。

新型コロナウイルスに感染した人やその家族、医療機関の関係者、職場の人や知人などで濃厚接触があった人などに対し、誤った情報や正確な情報に基づいた不当な扱いや嫌がらせ、インターネット上などでの誹謗・中傷は絶対に行わないでください。

「至誠惻怛」の精神で、敬意と思いをこめて行動をとります。

至誠惻怛…山田方谷が長岡藩士、河井継之助へ贈った、儒学者・王陽明の言葉。至誠(まこと)と惻怛(いたみ悲しむ気持ち)を持つことが人の基本であると説いている。

誰もが感染する可能性があります

ダメ!  
コロナ  
差別



コロナ差別は症状のある人の受診を遠ざけ  
感染拡大につながります

戦う相手はウイルスです!

もしサポ岡山

利用した施設や飲食店で新型コロナウイルスの感染者が出たら LINE を通じて連絡が来る県独自のシステムです。

まずは

スマートフォンアプリ「LINE」で「岡山県-新型コロナ対策パーソナルサポート」と「友だち」になります。



施設や店舗は

事前に県に対してQRコードの発行を申請し、そのQRコードを施設の入口などに掲示します。

施設や店舗の利用者は

利用者はスマートフォンアプリ「LINE」を通じてQRコードを読み取り、施設を利用したことを登録します。

利用した人の中から感染者が出たら

その施設の利用者に新型コロナ感染が確認されたとき、LINE を通じて連絡が届きます。

岡山県健康推進課 ☎ 086-226-7331

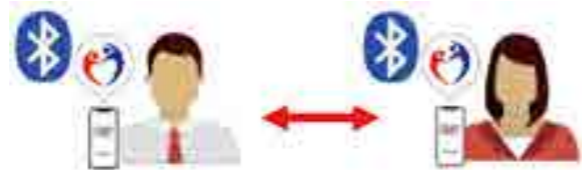
新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをお願いします

新型コロナウイルス接触確認アプリ

# COCOA

新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について通知を受け取ることができるスマートフォンアプリです。

1メートル以内・15分以上接触した可能性を記録



利用者は、陽性者の接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートなどを早く受けることができます。利用者が増えることで感染拡大の防止が期待されます。

厚労省 接触確認アプリ

検索

